

与板の起こり

与板は信濃川左岸に沿いの三島丘陵に接し、長岡市の北部、県のほぼ中央に位置する伝統を持つ地域です。

草創は明確ではありませんが、縄文中期の居住跡や多数の土器が発見されています。

建武年間新田氏の一族が「與板」に城を構え、安土桃山時代には直江氏、江戸時代には牧野氏、井伊氏が地理的条件に恵まれたこの地を城下町として大いに繁栄させました。

明治に入り藩藩置県により「與板県」となり、その後柏崎県、さらに新潟県に合併し郡役所が設置され、名実ともにこの地方の中心都市となりました。



与板城跡 (新潟県指定文化財)
通称「城山」と称し、上杉家の執政、藤山山城守兼藤原の居城です。兼藤は与板城主として、城下の農工・商業の発展に尽くし、城下町としての繁栄の基礎を作りました。昭和29年に新潟県の文化財に指定されました。

本与板城跡

本与板城跡は、越後守護職上杉家の家臣である飯沼氏の居城であり、その後藤山美綱(後の大和守景綱)の居城となりました。さらに城下の体裁も整えられ、信濃、そして山城守兼藤と直江三代に使用された城です。昭和63年に新潟県の文化財に指定されました。



表紙の写真

- ・孔金尾足銅製羽織 (長岡市指定文化財) 徳川幕府の与板藩井伊家始祖、井伊直政に贈った陣羽織。
- ・伝統工芸品越後与板打刀 400年余の伝統を誇り、昭和61年に伝統的工芸品産業の指定を受ける。
- ・藤山山城守兼藤 上杉景勝に仕え、同家の執政として活躍した戦国時代の与板城主。
- ・井伊家家紋



与板歴史民俗資料館前景



開館時間 / 午前9時～午後4時30分

休館日 / 毎週月曜日

年末・年始 (12月28日から翌年1月4日まで)

入館料 /

| 区分 | 個人 | 団体 (15名以上) |
|-----|------|------------|
| 大人 | 300円 | 250円 |
| 小学生 | 150円 | 100円 |

所在地 / 〒940-2402
新潟県長岡市与板町与板乙4356

歴史のふるさと——城下町与板

与板歴史民俗資料館



新潟県長岡市与板町

☎0258-72-2021



鍛冶のふるさと

与板の金物工業は、江戸以前の発祥といわれ、400年余りの伝統を誇り、優れた伝統的技術・技法を生かした生産方式を重んじ、改良と工夫を平行させながら、全国有数の生産地となっています。

鍛冶場
与板の金物の起源は、戦国時代にさかのぼり、直江大和守実綱が春日山城から、刀剣師を与板に連れてきたことに端を発します。



与板のあけぼの (縄文土器)

現在より5000年ほど前、縄文中期・後期・晩期の生活跡が徳昌寺遺跡、横原の上稲場・下稲場遺跡から発見されました。この地は漁労・狩猟・採集に適した理想的な地であったと考えられています。

良寛とゆかりの人々

「良寛と与板、そして市井の人々との交流に深い感銘を今に伝える聖僧良寛」
良寛の父以南は与板の新興・新木家の出身といふこともあり、良寛は幼い頃から、父の地に親しみ、町の人々との交流のエピソードや遺風などが数多く残されています。



与板ゆかりの画家たち

与板出身の日本画家、三輪昇勢(長岡市名誉市民)と大矢紀(同)の作品をはじめ、与板が誇る画家たちの作品を展示しております。

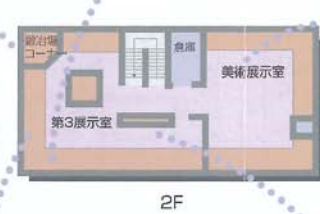
平成21年NHK大河ドラマ「天地人」主人公・直江兼続コーナー



直江兼続の登場

戦国時代から安土桃山時代まで、上杉家の重臣である直江氏が与板の城主でした。直江氏は上杉家臣でも有名な門といわれる家で、直江実綱は上杉謙信の重臣として活躍しました。

その後、実綱の娘おせん(おせん)の夫信綱が直江氏を継ぎましたが、春日山城内で修練されると、天正9年(1581)、後家となったおせんを樋口与六(兼続)が娶い、直江氏を継ぎました。直江兼続の誕生です。
兼続は、上杉氏の執政として戦国の争乱から天下統一へと社会が大きく変わる時代の最前線を突き進みました。



釈迦牟尼仏の乾漆像

光西寺住職・藤井昇雄が日露戦役戦没者慰霊のために発願し、古い教典の断片や破本を精製して樹膠の乾漆の手法で造り上げた仏像です。



江戸時代の井伊家治世

江戸160年余りにわたる井伊家治世のもと、与板の打刀物産業は順調に成長し、商業も大坂屋を始め越後屈指の豪商たちが活躍しました。そして、井伊家最後の藩主となる直安は、松田門で暗殺された大老井伊直弼の四男にあたり、幕末激動の時代を生き抜きました。



サッポロビールの生みの親・中川清兵衛

与板の老舗・中川家を継ぐ身でありながら、単身ドイツにわたり、ビール醸造の技術を学びました。明治8年に帰国し、北海道札幌に請われて、国産ビール醸造の第一歩を踏み出し、日本人初のビール醸造家となりました。



フルステンパレル工場で修業を終えた中川清兵衛。